

▼身近な土木

現存する日本最古の石橋を訪ねて

土木学会/土木広報センター/インフラパートナー・グループ
 日本ミクニヤ株式会社 九州支店 防災部
鮎本 健治



日本の石橋は、その多くが江戸から大正時代に架けられた。現存するアーチ石橋のうち多くが九州に現存している。資料によると、「現存する日本のアーチ石橋は約 1,800 基、その内 95%が九州に存在。最古の橋は長崎市の中島川に架かる 1634 年完成の眼鏡橋と云われていますが、沖縄県那覇市の首里城公園北側の円鑑池には、1502 年にリブアーチ式（縦軸積み法）で架けられた天女橋があります。」※1)とのこと。沖縄滞在のあり、日本最古の石橋を訪ねていざ首里城公園へ。

■天女橋：1972 年 5 月 15 日 国指定建造物

15 世紀末に朝鮮王から贈られたお経「ほうさつぞうきょう法冊蔵経（高麗版大蔵経）」を納めるため、1502 年に円鑑池の中にお堂が設けられました。そこへ至る橋が天女橋で、当初は関蓮橋と呼ばれました。

1609 年、薩摩の琉球入りでお堂は破壊され、法冊蔵経は失われました。1621 年に至って、新たにお堂を建て弁財天像をまつり、以降お堂は弁財天堂と呼ばれ、橋も天女橋と呼ばれるようになりました。

天女橋は、中国南部にある橋に似た琉球石灰岩を用いたアーチ橋で、全長 9.75m、幅 2.42m、欄干は細粒砂岩で作られています。

1945 年、沖縄戦で弁財天堂は破壊され天女橋も破損しましたが、1968 年弁財天堂は復元され、翌年天女橋も修復され、現在に至るそうです（現地の案内看板より）。



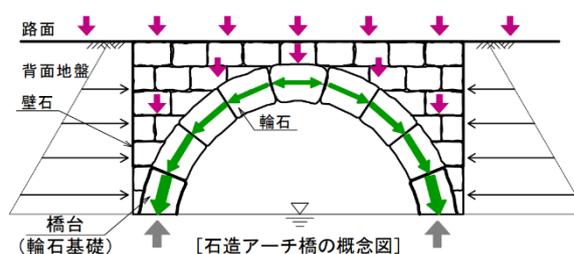
円鑑池・弁財天堂と天女橋



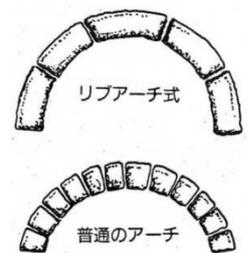
天女橋

この天女橋、中国が明の時代、琉球と交易のあった頃に伝わったと云われています。沖縄の石橋は殆どがリブアーチ式であり他の地域ではあまり見ることはできません。又眼鏡橋は日本に多くにあるセグメント式（横軸積み法）の中では最古と云われていますが、その時代は長崎県以外に殆ど伝播されませんでした※1)。

ちなみに、リブアーチ式とは (ribbed arch=縦軸積み法)、輪石



石造アーチ橋の概念図※2



アーチ模式図※3

(アーチ石)の長い方を縦(橋の渡る方向、川の流れと垂直方向に)に並べた石橋です。

しかし、色々調べてみると天女橋が架けられた1502年から遡ること半世紀前の1456年、同じ沖縄県に末吉宮磴道〔とうどう〕橋という陸橋が架けられているとのこと^{※4)}。さらに足を延ばして末吉宮へ。

■末吉宮磴道：1956年2月22日 県指定建造物

末吉宮境内にある石造階段で、築造は本殿と同じ尚泰久(しょうたいきゅう)王代(1445~60年)の1456年ごろと推定される。末吉宮は、本殿・拝殿・祭場からなり、本殿の建つ岩盤と祭場側の低い岩盤との間の下方に石造単拱橋(アーチが1つの橋)を架け、石垣の上にさらに石を積み上げて両岩盤を結びつけた所に拝殿が建っていた(拝殿は明治末期に倒壊)。参道を登りつめた所から磴道になるが、祭場広場までは踏面に勾配のついた8段の階段、祭場広場から拝殿までは折り返し逆方向に21段の直線の石段、拝殿からさらに7段の石段を登りつめた所に本殿が建てられている。境内入口の石段から祭場広場までは低い石垣囲いがあり、21段の石段も含めて「末吉宮磴道」と呼ばれている。この磴道は、すべて琉球石灰岩の切石を用いて築かれている^{※5)}。なお、この「末吉宮磴道」、建造物の種別は橋梁として指定されています。



末吉宮磴道橋



反対側から撮影

ちなみに、この末吉宮に訪問した際、筆者は末吉公園側からアプローチしましたが、分岐がいくつもあるうえ案内表示がなく、しばらく森の中をさまよいました(探検気分で楽しかったですが)。訪れる方は北側の「大名参道入口」からのアクセスがおすすめです。また、末吉宮での参拝は文化財保護のため石段の下から行うことになっているようですので、参拝の際はご注意ください。

※1)石橋の宝庫, 建設コンサルタンツ協会誌 Vol.281, 一般社団法人建設コンサルタンツ協会
https://www.jcca.or.jp/kaishi/281/281_toku4.pdf

※2)道路橋石橋の定期点検に関する参考資料(中間報告), 道路橋石橋維持管理検討委員会
<https://www.gsr.mlit.go.jp/n-michi/file/chukanhoukoku.pdf>

※3)大分の石橋物語, 田村卓夫著
<http://www.nan-nan.jp/lib/sb009.pdf>

※4)近世以前の土木・産業遺産, 管理者 岡山大学名誉教授・馬場俊介
https://www.kinsei-izen.com/pref/47_Okinawa.pdf

※5)那覇市観光資源データベース
<https://www.naha-contentsdb.jp/spot/492>